

参考様式1

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）事業実施計画
（ふ じ かわ ちょう のう そん ち く かつ せい か けい かく富士川町農村地区活性化計画）

計画主体名	計画期間
<small>ふじかわちょう</small> 富士川町	令和3年度～令和6年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
富士川町役場 産業振興課	0556-22-7202	0556-22-5516	sangvo@town.fujikawa.lg.jp

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること。
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、すべての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
山村活性化の促進	道の駅富士川敷地内に加工所の整備を行い、さらに地元農産物を利用したバウムクーヘンをつくりながら販売する施設の改修整備を行うことによって、地元で収穫した農産物に更なる付加価値を付け、新商品の開発を行うことで、農家の所得向上、定住促進を図る。また、平林地区に農業体験宿泊施設の整備を行い、農業体験を通してこの地区で採れる農産物の良さ、棚田や富士山の情景などの農山村の風景を体感してもらい、さらに、地域住民との交流を図っていくことから、事業活用活性化計画目標とした。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物の販売額の増加	50,465千円増加	計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加額(千円) = (地域産の農林水産物の販売額(千円)【目標値】 - 地域産の農林水産物の販売額(千円)【現状値】)

第1評価指標の設定根拠

本計画では、「山村活性化の促進」を目標として新たに整備する「農林水産物処理加工施設」、「地域連携販売力強化施設」及び「農林漁業・農山漁村体験施設」における当地区における効果として、「地域産物の販売額の増加」を第1評価指標として評価を行なう。

計画区域において生産された農林水産物の販売額の増加額(千円) 50,465千円
 【目標値】地域産の農林水産物の販売額(千円) 557,446千円
 【現状値】地域産の農林水産物の販売額(千円) 506,981千円

単位:千円

	現状値			目標値			摘要
	H29	H30	R01	R04	R05	R06	
山梨みらい農業協同組合直売所	17,082	14,085	13,121	14,800	14,900	15,000	平林交流の里 みさき耕舎は、農業体験宿泊施設(仮)との相乗効果で、R04は、H30とR01の平均の約10%増を見込み、以降は前年度約5%増を見込んだ。 その他施設(つくたべかんのR04は、H30とR01の平均から算出)は、0.3%から1%未満の増加を見込んだ。 道の駅富士川については、新設加工所、バウムクーヘンの施設を整備したことにより、R04 6.8%、R05 約5.7%、R06 5%の増加を見込んだ。(前年比R04は、R01と比較) 交流センター「塩の華」については、R03.03.31で閉鎖。以降は売上なし。
ほずみの郷加工直売所	19,880	20,723	20,697	20,600	20,700	20,800	
平林交流の里 みさき耕舎	1,760	1,316	926	1,240	1,302	1,366	
道の駅富士川	409,552	417,527	460,501	492,000	520,000	546,000	
交流センター「塩の華」	45,843	41,032	32,852	-	-	-	
つくたべかん	1,654	1,275	1,117	1,200	1,210	1,220	
合計	495,771	495,958	529,214	529,840	558,112	584,386	
平均(3年間)	506,981			557,446			

農産物直売所実態調査から

第2評価指標(任意)	具体的数値目標		具体的数値目標の算出方法
	交流人口の増加	19,449人増加	
第2評価指標の設定根拠			

本計画では、「山村活性化の促進」を目標として新たに整備する「農林水産物処理加工施設」、「地域連携販売力強化施設」及び「農林漁業・農山漁村体験施設」における当地区における効果として、「交流人口の増加」を第2評価指標として評価を行なう。

計画区域における交流人口の増加数(人) 19,449人
【目標値】計画区域外からの入込客数(人) 337,428人
【現状値】計画区域外からの入込客数(人) 317,979人

単位:人

	現状値			目標値			区域外の割合	摘要
	H29	H30	R01	R04	R05	R06		
道の駅富士川	306,744	307,323	324,456	319,200	332,000	345,600	-	道の駅富士川のR04については、売店は、R02(128,615人)から91.6%増を見込み、レストランについては、R02(60,858人)から19.6%増を見込んだ。R05からR06年度については今回事業の集客効果を考慮して、売店、レストランともに前年比4%増を見込んだ。 みさき耕舎のR04の食堂飲食利用は、R02(2,480人)から45%増を見込みその後は、前年度比1%増を見込んだ。 そば打ち体験のR04は、R02(67人)と同じで、その後は、前年度比7から6%増を見込んだ。 掘取り体験は、R02(93人)から370%増を見込み、その後は、前年度比2から6%増を見込んだ。 収穫農園のR04は、R02(112人)から12%増を見込み、その後は、平均123人程度を見込んだ。 棚田オーナー制度はのR04は、R02(133人)から135%増を見込み、その後は、平均327人程度になるよう見込んだ。 米作り体験は、都心の中学生の受け入れを行っていたが、事業継続が未確定であるため0とした。 農業体験宿泊施設のR04は、予測値(約600人)の2/3(400人)を見込んだ。 R05は、予測値の約600人を見込んだ。 R06は、広報活動などの増加で2%増を見込んだ。
農産物(特産物)・物品(売店)	228,709	228,299	240,181	246,400	256,000	266,400	80%	
富士川キッチン(レストラン)	78,035	79,024	84,275	72,800	76,000	79,200	80%	
みさき耕舎・農業体験宿泊施設	5,285	5,370	4,760	4,944	5,221	5,318	-	
食堂利用者数	4,161	4,189	3,860	3,667	3,712	3,756	-	
飲食のみ	4,061	4,108	3,760	3,600	3,640	3,680	80%	
そば打ち体験	100	81	100	67	72	76	90%	
農業体験利用者数	1,124	1,181	900	1,277	1,509	1,562	-	
掘取り体験(じゃがいも・大根)	521	487	311	438	465	474	60%	
収穫農園(じゃがいも・大根)	117	135	90	126	121	126	90%	
棚田オーナー制度	285	332	313	313	323	332	95%	
棚田米作り体験	201	227	186	0	0	0	100%	
農業体験宿泊施設宿泊者数	-	-	-	400	600	630	100%	
合計	312,029	312,693	329,216	324,144	337,221	350,918	-	
平均(3年間)	317,979			337,428			-	

観光客入込客数からの推計値

Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
①農林水産物処理加工施設	富士川町農村地区	・農産物加工所(新設) ・附帯施設(駐車場)	・389㎡ ・605.74㎡	R03	富士川町	170,474	83,667	1/2	83,667	農林水産物処理加工施設を整備することにより、安定した商品供給を行い、地元で収穫した農産物に更なる付加価値を付け、地域産物の販売額の増加、加工品新商品開発による山村活性化の促進を図る。	
②地域連携販売力強化施設	富士川町農村地区	・農産物加工販売施設(増築)	・242.16㎡	R03	富士川町	100,815	35,113	1/2	35,113	地域連携販売力強化施設を整備することにより、地元で収穫した農産物に更なる付加価値を付け、地域産物の販売額の増加、交流人口の増加、加工品新商品開発による山村活性化の促進を図る。	上限事業費 290,000円×242.16㎡ =70,226,400円
③農林漁業・農山漁村体験施設	富士川町農村地区	・農業体験宿泊施設 ・屋外トイレ、手洗い場 ・附帯施設(駐車場)	・47.61㎡×4棟 =190.44㎡ ・4.96㎡ ・630㎡	R03	富士川町	69,960	28,333	1/2	28,333	農林漁業・農山漁村体験施設を整備することにより、宿泊による農業体験の取り組みを推進し、交流人口の増加による山村活性化の促進を図る。	上限事業費 290,000円×195.4㎡ =56,666,000円
合 計						341,249	147,113	0	147,113		

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
- ・事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。
- ・「農泊推進対策」で実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。

(※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

IV 他の施策との連携に関する事項

該当なし

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

【記入要領】

- ①交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ②連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

